

2020年度

T 日本史問題

注意

1. 試験開始の指示があるまでこの問題冊子を開いてはいけません。
2. 解答用紙はすべてHBの黒鉛筆またはHBの黒のシャープペンシルで記入することになっています。HBの黒鉛筆・消しゴムを忘れた人は監督に申し出てください。(万年筆・ボールペン・サインペンなどを使用してはいけません。)
3. この問題冊子は12ページまでとなっています。試験開始後、ただちにページ数を確認してください。なお、問題番号はI・IIとなっています。
4. 解答用紙にはすでに受験番号が記入されていますので、出席票の受験番号が、あなたの受験票の番号であるかどうかを確認し、出席票の氏名欄に氏名のみを記入してください。なお、出席票は切り離さないでください。
5. 解答は解答用紙の指定された解答欄に記入し、その他の部分には何も書いてはいけません。
6. 解答用紙を折り曲げたり、破ったり、傷つけたりしないように注意してください。
7. この問題冊子は持ち帰ってください。

マーク・センス法についての注意

マーク・センス法とは、鉛筆でマークした部分を機械が直接よみとって採点する方法です。

1. マークは、下記の記入例のようにHBの黒鉛筆で枠の中をぬり残さず濃くぬりつぶしてください。
2. 1つのマーク欄には1つしかマークしてはいけません。
3. 訂正する場合は消しゴムでよく消し、消しきずはきれいに取り除いてください。

マーク記入例：

A	1	2	3	4	5
	○	○	●	○	○

(3と解答する場合)

I . 次の文を読み、下記の設問A・Bに答えよ。解答は解答用紙の所定欄にしるせ。

1. ヒトの移動や増減に注目して日本史を見ていくと、どのようなことが言えるだろうか。まず、弥生時代から始まった人口増加の波は、1000年ほど続いたと考えられている。その背景には、¹⁾気候変化のほか、中国大陸や朝鮮半島からやってきた人々がもたらした水稲農耕による食糧供給の増大があったと言われる。農耕の定着と共に社会集団の規模が大きくなり、地域統合や国家形成が進むと、統治のために戸口調査が行われるようになった。全国を対象とした最初の戸籍は、(イ) である。また、主に朝鮮半島からやってきた渡来人と呼ばれる人々により、様々な技術や文化が伝えられた。

²⁾

2. 弥生時代以降の人口増加は、10世紀頃から13世紀にかけて停滞したとされる。しかしその後また新たな人口増加の波が始まるまでの間も含め、人口動向を知る手がかりとなる戸口調査などの資料は乏しい。それは、荘園制というシステムが、全国的に人口を把握することに無関心だったからである。³⁾

しかし、だからといって、この時代が暗黒時代だったわけではない。鎌倉時代末頃から、荘園の集まりには、一部の名主だけでなく、台頭してきた小百姓が参加し始め、室町時代には、上級農民を中心に広い階層の百姓らが(ロ) と呼ばれる祭祀組織に集まって寄合を開き、惣と言われる自治的な村落を作って活発に活動するようになった。

またこの時期は中国大陸や朝鮮半島との往来が盛んで、日本人ばかりでなく中国人なども参加する倭寇と呼ばれるアジア海域にまたがる越境的な活動があった。その後、「大航海時代」と呼ばれるなか、東アジア海域に参入して来たヨーロッパ人も、こうしたグローバルな経済活動に関わるようになった。

3. 16世紀になると、戦国大名らが領国の軍事・経済を発達させるために、土地と人口、生産高を調査・把握するようになった。豊臣秀吉はこれを進めて全国的に土地を掌握し、1592年、朝鮮出兵のために豊臣政権は(ハ) 令と呼ばれる戸口調査を行った。朝鮮出兵の際には、多くの朝鮮人陶工らが日本に連行された。豊臣政権期から江戸時代初期にかけては日本人が東南アジア各地に移住して日本町を作るなど海外進出も盛んだったが、その後、徳川幕府が海外との移動を厳しく制限するようになった。

⁵⁾

但し、いわゆる鎖国と言われる政策下でも、海外に(ニ) と呼ばれる施設が置かれて、外交・貿易業務のために対馬藩の役人や商人らが派遣されるなど、日本人は誰も海外に行かなかったというわけではない。

4. 徳川幕府や藩は、村、町などを通じて、身分別・職業別・地域別に国内を管理した。また、一般民衆をある社会組織に登録させて（ホ）帳を作成しその身元を証明させる制度を作り、18世紀にはそれが戸籍の役割を果たすようになった。現在、人口についての情報を歴史研究に活用することができるのは、このおかげでもある。

14・15世紀から17世紀までは、連続した人口増加の波があったことが知られており、特に江戸時代前半は人口が爆発的に増加した。この時期の人口増加は、一組の夫婦を中心とする小規模な家族が農業の中心となったことと結びついていると言われる。このような小農経営は、細やかで高度な技術や労力、肥料を集中的に投下し、面積当たりの収穫量を増やそうとした。⁷⁾

5. 17世紀に増加を続けた全国人口は、18世紀には停滞した。しかしその後徐々に出生率は回復し、明治期の人口増加に接続したと言われる。明治維新後、新たな族籍にもとづいて近代最初の統一的な（ヘ）戸籍が編成された。この時、日本の人口は3300万人余りであった。外国人が自由に国内に居住することができるようになるのは、後の（ト）外務大臣の時である。一方、日本は台湾出兵以降たびたびアジアへの軍事的・政治的介入を行い、海外居留民が増えていった。⁸⁾

明治期以後、沖縄や東北地方などの生活が苦しい地方からは、北海道開拓のほか、北米・南米、東南アジアや中国大陸など海外に移住する者も多くみられた。人口が増え続ける近代日本にとって、人口問題は内政・外交上の大きな問題であった。⁹⁾

6. 戦場がアジア・太平洋地域だけではなく、日本国内へも及んだ戦争は、日本人約310万人、アジア・太平洋地域の人2000万人以上の死者を出したという。「終戦」によって、海外にいた約310万人の軍隊と約320万人の一般居留民が日本国内に引き揚げることになった。これだけの人をどう引き揚げさせ、軍民の引き揚げ者を含む多くの失業者をどのようにして生活させるのが、戦後日本の大きな課題となった。¹⁰⁾

その後高度経済成長とともに、農山漁村における過疎化・高齢化と大都市における人口集中と過密が、深刻な社会問題となった。¹¹⁾

しかし明治期以降人口が増え続けた日本は、2008年をピークとして人口減少に転じ、2048年に1億人を割り込むと見込まれている。外国人移民の受け入れや経済成長及び社会福祉のあり方を含めて、日本は今後、少子高齢化にどのように対応していくのだろうか。

A. 文中の空所(イ)～(ト)それぞれにあてはまる適当な語句をしるせ。

B. 文中の下線部 1)～11)にそれぞれ対応する次の問 1～11に答えよ。

1. これに関する記述として正しくないのはどれか。次の a～d から 1つ選び、その記号をマークせよ。
 - a. 石包丁や木材を伐採し加工するための石斧などの朝鮮半島と共通する磨製石器が、弥生時代の遺跡から発掘された
 - b. 弥生時代後期には石器の多くは姿を消し、かわって斧・やりがんな・刀子などの鉄製工具が普及した
 - c. 弥生時代中・後期には、前期からあった灌漑技術が必要な乾田にかわり、新たに排水技術が必要な湿田が開発された
 - d. 弥生時代にはすでに臼と杵を使って脱穀した米を食べ、収穫物は高床倉庫や貯蔵用の穴などに収納された
2. これに関する記述として正しいのはどれか。次の a～d から 1つ選び、その記号をマークせよ。
 - a. 主に朝鮮半島から来た渡来人を、ヤマト政権は錦織部・韓鍛冶部・鞍作部・陶(作)部や、記録・文書の作成や財政事務を担当する史部などに組織した
 - b. 5世紀になると朝鮮半島から灰色のかたい土師器の製作技術が伝えられ、弥生土器の系譜を引く赤焼きの須恵器と共に使われるようになった
 - c. 朝鮮半島南部にある好太王碑に高句麗と戦ったと記されているヤマト政権は、騎馬軍団との戦いから乗馬や馬具を学び、以後古墳に馬具を副葬するようになった
 - d. 仏教の経典を教授する学者である五経博士がヤマト政権との関係を緊密化するために百済から渡来し、北伝仏教系統の仏像や経論などを伝えた
3. これに関して、鎌倉時代になると、本来は国衙として作るべき一国内の荘園・公領ごとの田地の面積や荘園領主・地頭の氏名を書き出した土地台帳を、幕府が守護を通じて在庁官人に命じて作らせるようになった。この土地台帳の呼び方をしるせ。
4. 1392年に建国した朝鮮と日本との関係に関する記述として正しいのはどれか。次の a～d から 1つ選び、その記号をマークせよ。
 - a. 朝鮮側は、対馬の宗氏を通じて交易を統制しようとした
 - b. 日朝交易は日明貿易と同様、国王だけに許された独占交易の形で行われた
 - c. 日本が朝鮮から輸入した蘇木や香木などは、さらに琉球に輸出された
 - d. 日本からは銅や硫黄のほか、西日本で盛んに栽培されていた木綿も輸出された

5. この結果として伝えられた技術によって始められた陶磁器として正しくないのはどれか。次の a～d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。
- a. 有田焼 b. 高取焼 c. 萩焼 d. 備前焼
6. これに関する次の出来事 a～d のうち、もっとも古いものを解答欄の i に、次に古いものを ii に、以下同じように iv まで年代順にマークせよ。
- a. 島原の乱
- b. 中国船を除く外国船の来航を平戸・長崎に制限
- c. 日本人の海外渡航及び帰国を全面禁止
- d. 奉書船以外の海外渡航を禁止
7. これに関する記述として正しくないのはどれか。次の a～d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。
- a. 刈敷には、近くの入会地から共同で得られた草も利用された
- b. 北前船は、主に蝦夷地でとれる鯨などの油を搾った残りのメ粕を西日本に運んだ
- c. 九十九里浜の鰯漁は、綿作などの肥料に干鰯やメ粕が使われたために発達した
- d. 下肥は農民が都市から搬出する排泄物で、農民が金を払うことはなかった
8. この 1 つの事例として、朝鮮の急進開化派が日本公使館と結んでクーデタを起こし失敗した事件が起きた。この事件を何と呼ぶか。その名をしるせ。
9. この地方出身で初めて総理大臣になった原敬が、国民の選挙制度改革への要求に対してとった対応を、実際に行った具体的改革を 2 点あげつつ 60 字以内で説明せよ。
10. これをいつと考えるかは、天皇による終戦のラジオ放送、講和条約の締結・発効など諸説あるほか、海外でもアメリカなどでは東京湾内において行われた降伏文書の調印の日が対日戦勝記念日（V Jデー）とされるなど、様々である。この降伏文書調印の日は、何月何日かしるせ。

11. これに関する記述として正しいのはどれか。次の a～d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。
- a. 石油ショックによる経済危機が広がるなか首相となった田中角栄は、大規模公共投資と地方交通網整備を行い、太平洋沿岸に集中した工業地帯を全国各地の拠点都市に分散させ、危機を打開しようとした
 - b. 大都市部では、日本社会党や日本共産党の推薦する美濃部亮吉が東京都知事に当選するなど1960年代後半から70年代初めにかけて革新首長が誕生し、公害の規制や老人医療の無料化などを実現した
 - c. 太平洋ベルト地帯ではコンビナートの拡大により公害問題が深刻化したが、1960年代後半になって次々と四大公害訴訟と呼ばれる公害裁判が起こされたのもこの地帯であった
 - d. 農業生産性の向上と農家所得の増大をめざして農業基本法が公布され、農業構造改善事業に多額の補助金が支給されたため、1970年代までは農業人口減少と兼業農家増加に歯止めがかかった

Ⅱ。次の文を読み、下記の設問A・Bに答えよ。解答は解答用紙の所定欄にしるせ。

江戸時代後期の教育・学問の普及は、明治以降の近代国家を形成していく上で重要な文化土壌となっていた。欧米の研究者の中には、日本の近代化への準備を、江戸時代の教育・学問の普及に求めている人たちもいる。

室町時代後期からすでに、有力な商人や村落の指導者の間では、職業上、村の運営上、読み・書き・そろばんなどの必要が生まれており、農村にも次第に文字の文化が浸透し始めていた。江戸時代に入って、手習塾とも呼ばれた寺子屋は、庶民の教育機関として爆発的に増加し、村役人や神職僧侶、裕福な町人などによって運営された。教師役の師匠は文字の反復学習のために、書簡文などがのせられた（イ）と総称されるものや『実語教』などを教科書として使い、日常生活に役立つ教育を行った。学力レベルや地域・季節・職業の別、あるいは日常生活の必要によって、その種類は7000にも及ぶとされた。

江戸時代後期には、儒学だけでなく国学・洋学といった学問も普及していく。それらの学問は、その指導者とともに、私塾¹⁾を通して知られるようになり、評判を伝え聞いて各地から青年が集まることも多かつた。学問を求める青年たちは、自分の学習目的と学力水準にあわせて私塾を選択し、それらを結びあわせて各人なりの学習履歴をつくっていった。

幕府は儒学による武士への教育を奨励し、林家の家塾として始まった教育機関を幕府直轄の（ロ）とした。諸藩においても、18世紀末ごろから藩校²⁾を設けて積極的に藩士の教育に乗り出し、藩士には文武両道の教養が求められた。また城下から離れた地域などには、藩士や庶民の教育のために公共的な性格をおびた教育機関である（ハ）が設けられることもあった。（ハ）のなかには、藩の援助を受けるものもあった。

日本の近代教育は、1872年に出された学制に始まる。近代的な教育の重要性を認識し学校制度へと作り上げたのは、初代文部大臣の森有礼であった。森は、福沢諭吉らとともに明六社³⁾を結成して文明開化の啓蒙活動に尽力した。1879年、特命全権公使としてイギリスに勤務し、条約改正等に取り組みつつ、在勤中に憲法調査中の伊藤博文とパリで会って、教育の確立こそが日本を近代国家にするという自身の思想を披瀝した。これに伊藤が感銘を受け、1885年内閣制度の新発足にともない、森は、伊藤内閣の文部大臣に任命されることとなった。森は、近代国家を担いうる人材の育成という課題のもとに、1886年学校令を制定し、学校体系を整備した。この学校令は、帝国大学令、中学校令、小学校令と（ニ）令からなる総称である。大学は専門的な学問を伝授する場として近代化を支える少数の国家エリートを養成し、小学校は国民教育の場として大多数の国民を国家目標に忠実な臣民へと育てあげるといのように、近代国家に求められる人材づくりを構想した。

その森は、1889年2月、大日本帝国憲法発布の日、国体を危うくする者を文相の座に置くことはできないと考えた⁴⁾国家主義者に暗殺された。その後、3年あるいは4年だった小学校の義務教育期間は、1907年に6年に延長され、就学率も急激に上昇し1900年頃には90パーセントを超えるまでになった。また、1903年には全国的に教育内容を統一した国定教科書の使用が始まるなど、小学校教育を中心に教育の量的普及は目覚ましかった。ただ、女子教育や障害児教育の普及は遅れた。

近代国家を形成する上で、国民統合の課題への対応も求められた。明治維新以降、近代日本の教育は、天皇制と不可分の関係にあった。明治初期の教育理念は西洋化を主張する開化派と儒教主義を主張する保守派とで対立していた。だが、両派の共通の政敵であり、公論にもとづく政治をおこなうための議会設立などを求める（ホ）運動に対抗していくため、双方の妥協が成立していった。その天皇制と国民とをつなぐ目的で1890年に発布されたのが教育勅語であった。教育勅語の教育現場への浸透において重要な役割を果たしたのは、学校儀式であった。教育勅語の奉読は、天皇皇后の公式肖像写真である御真影への拝礼とセットになって厳粛に執り行われた。修身をはじめとする各教科には教育勅語の内容が盛り込まれ、忠君愛国を国民道徳の基本にすえた国家主義教育が推し進められた。その一方で、対立する思想に対しては、例えば1891年に第一高等中学校で起きたキリスト教徒（ヘ）の不敬事件のように、「踏み絵」的な機能を強めていった。1899年には中学校令（改正）・高等女学校令が公布され、中等教育が整備されていくが、同年には宗教教育の禁止を命じた文部省訓令12号が、キリスト教学校に一時的にせよ大きな打撃を与えた。教育勅語は、敗戦まで日本人の国民精神を形作る教育理念として機能した。アジア・太平洋戦争下においては、天皇は、国内だけでなく朝鮮・台湾の人びとにも、⁶⁾現人神的権威をさらに強め、絶対的な存在として立ち現れることになった。

近代的な学校制度と教育理念との関係を考える上で、象徴的な事件となったのは、南北朝正閏問題であった。1911年1月、国定教科書『尋常小学日本歴史』が南北朝併立の立場をとっていることを、『読売新聞』が非難したのを発端に、14世紀の南北朝時代の⁷⁾両皇統のどちらを正統とするかの論争が、帝国議会を中心に政治問題化したのである。それまで国定教科書では、室町幕府の成立の過程で、南北朝を併立するものとして記述していた。ところが、⁸⁾幸徳秋水らの大逆事件の影響もあって、国民精神の動揺の要因は皇室の対立をあからさまにしている教科書の記述にあると、野党（ト）党の犬養毅が政府の責任を追及し、1911年2月にこの問題についての質問が衆議院に提出されたのである。これの対⁹⁾応に当たった内閣は、天皇に上奏して南朝を正統とすることにした。こうして南北朝時代は、修正国定教科書において「吉野の朝廷」に改められ、北朝方は賊軍とされた。大学で

の学問的研究の成果とは切り離され、国民道德の観点から小学校の教育内容が書き換えられた。

敗戦後、民主化政策のなかで、1945年10月に、マッカーサー元帥は幣原喜重郎首相に口頭で五大改革を指示した。1947年には教育の機会均等や男女共学の原則を含んだ教育基本法が¹⁰⁾制定され、また1948年には教育勅語の排除や失効に関する決議が衆議院・参議院それぞれで可決された。同年には、国民の意見を教育行政に反映させるため（チ）制による教育委員会が設けられた。しかし、1950年代になると再び国家統制が強められ、1954年には¹¹⁾教職員の政治教育や政治活動を抑制する、いわゆる（リ）が公布された。これに対して、日本教職員組合は反対闘争を続けた。

A. 文中の空所(イ)～(リ)それぞれにあてはまる適当な語句をしるせ。

B. 文中下線部 1)～11)にそれぞれ対応する次の問 1～11に答えよ。

1. これについて、その名称・設立地・設立者の組合せとして正しくないのはどれか。

次の a～d から 1つ選び、その記号をマークせよ。

- | | |
|------------------|-----------------|
| a. 咸宜園・豊後日田・広瀬淡窓 | b. 古義堂・江戸・伊藤仁斎 |
| c. 適塾・大坂・緒方洪庵 | d. 鳴滝塾・長崎・シーボルト |

2. これについて、その名称・設立地の組合せとして正しくないのはどれか。次の a～d から 1つ選び、その記号をマークせよ。

- | | |
|------------|-----------|
| a. 時習館・名古屋 | b. 修猷館・福岡 |
| c. 造士館・鹿児島 | d. 明倫館・萩 |

3. この結社に参加し、『西国立志編』を著した人物はどれか。次の a～d から 1つ選び、その記号をマークせよ。

- | | | | |
|---------|---------|---------|-------|
| a. 加藤弘之 | b. 津田真道 | c. 中村正直 | d. 西周 |
|---------|---------|---------|-------|

4. これに関する記述として正しくないのはどれか。次の a～d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。
- a. 行政・立法・司法の三権分立がとられたが、内閣の各大臣は天皇に対してそれぞれが責任をもつものとされた
 - b. 憲法草案作成作業は、フランス人顧問ボアソナードの助言を得て、伊藤博文を中心に井上毅らが起草にあたった
 - c. 天皇と行政府にきわめて強い権限が与えられ、天皇は統治権のすべてを握る総攬者とされた
 - d. 日本臣民には、法律の範囲内で所有権の不可侵、信教の自由、言論・出版・集会・結社の自由が認められた
5. この年にあった出来事として正しいのはどれか。次の a～d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。
- a. 華族令の制定
 - b. 市制・町村制の公布
 - c. 枢密院の設置
 - d. 府県制・郡制の公布
6. これに関する記述として正しくないのはどれか。次の a～d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。
- a. 1945年、沖縄では、中等学校などの生徒が鉄血勤皇隊として動員され、また日本軍によって集団自決に追い込まれる住民もいた
 - b. 植民地の朝鮮では、皇民化政策のなかで日本への同化が求められ、姓名を日本式にかえさせる創氏改名が実施された
 - c. 1943年、大学や高等学校・専門学校に在学していた徴兵適齢の理科系学生を軍に徴集する学徒出陣が実施された
 - d. 都市防衛のために軍需工場の地方移転、住民の縁故疎開に加えて、主要都市の国民学校では1944年夏から学童集団疎開が実施された
7. これについて、1891年に論文「神道は祭天の古俗」を発表し、この論争の際にも南北朝の対立は動かしがたい史実であり、軽々しく正閏を決すべきでないという立場にたった学者は誰か、その名をしるせ。

8. これに関する記述として正しくないのはどれか。次の a～d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。
- a. 足利尊氏は持明院統の光明天皇を立て、幕府を開く目的で政治方針としての建武式目を発表した
 - b. 大覚寺統から即位した後醍醐天皇は京都を逃れて、皇位の正統を主張した
 - c. 南朝の後亀山天皇が足利義満の説得に応じて入京し、天皇は北朝の後小松天皇一人となった
 - d. 動乱初期、南朝側では楠木正成、北畠親房が戦死するなど形勢は不利であったが、新田義貞らが中心となり、抗戦を続けた
9. この内閣はどれか。次の a～d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。
- a. 第一次桂太郎内閣
 - b. 第一次西園寺公望内閣
 - c. 第二次桂太郎内閣
 - d. 第二次西園寺公望内閣
10. これに該当しないのはどれか。次の a～e から 1 つ選び、その記号をマークせよ。
- a. 経済機構の民主化
 - b. 神社・神道への支援・監督の禁止
 - c. 秘密警察などの廃止
 - d. 婦人（女性）参政権の付与
 - e. 労働組合の結成奨励
11. この年代にあった出来事として正しいのはどれか。次の a～d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。
- a. 産業と人口の大都市集中を緩和し地域間格差を是正するため、全国総合開発計画が策定された
 - b. GHQ は経済安定九原則の実行を指令し、その実施のため銀行家のドッジが、特別公使として来日した
 - c. 自由党と日本民主党の保守合同により、鳩山一郎が新たに結成された自由民主党の総裁となった
 - d. 日韓基本条約が結ばれ、サンフランシスコ講和会議に招かれなかった韓国との国交がようやく正常化した

【以下余白】